

科目名	在宅医療概論		
-----	--------	--	--

科目番号	A-4	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	長崎国際大学	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	詳しくはお問い合わせください	曜日	曜日
		時限	時限目
開講時間	時 分～ 時 分 (90分) 「毎週 曜日」	授業定員	240人
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	開講日の講義及び担当教員は、事情により変更することがある。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
①	在宅医療に係わる多くの専門職と専門職連携の重要性	大磯 茂 (長崎国際大学薬学部)
②	在宅医療におけるケアマネージャーの役割	鷺峯 志保 (まつお内科医院)
③	在宅医療における医師の役割	太田 一寿 (長崎国際大学薬学部)
④	在宅医療における歯科医師の役割	疊屋 文人 (佐世保市歯科医師会)
⑤	在宅医療における薬剤師の役割	七嶋 和孝 (ななしま薬局)
⑥	在宅医療における薬局薬剤師の役割	徳永 修 (あんず薬局)
⑦	在宅医療における病院看護師の役割	高田 寿美子 (重工記念長崎病院)
⑧	在宅医療における看護師の役割	越智 幸代 (佐世保市医師会訪問看護ステーション)
⑨	在宅医療における管理栄養士の役割	林 俊介 (長崎国際大学健康管理学部)
⑩	在宅医療におけるPT,OT,STの役割	井手 伸二 (長崎リハビリテーション病院)
⑪	在宅医療における地域連携室の役割	永田 敬博 (佐世保共済病院)
⑫	在宅医療における地域包括支援センターの役割	江崎 勝明 (佐世保市早岐地域包括支援センター)
⑬	在宅医療における行政のサポート	宗 陽子 (長崎県県央保健所)
⑭	在宅医療における多職種連携に関するスモールグループディスカッション	石橋垂矢、大磯茂、林俊介 (長崎国際大学)
⑮	在宅医療における多職種連携に関するスモールグループディスカッション	石橋垂矢、大磯茂、林俊介 (長崎国際大学)

連絡先	長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020
<p>(科目内容) 本講座は、長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、自治体、保健・医療・福祉系の職能団体とNPO法人が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が開講する。講座の目的は、将来、在宅がん医療や緩和ケアを多職種協働で実践できる専門職の人材育成である。「在宅医療概論」では、在宅医療に必要な基礎知識を学ぶとともに、連携する専門職種との役割と情報の共有について理解を深めるため各分野の専門家を招いたオムニバス形式の講義を行う。</p>	

学生の感想・
教員のコメント等

[受講生の感想]
 高齢化社会が進むとこれからの日本社会がどうなっていくのかということや、医療を考える際に医療従事者がどれだけ重要になってくるかを学ぶことができました。在宅医療のシステムが上手く働くためには多くの関係者の努力と協力が必要不可欠だと思いました。(薬学生)
 在宅医療における多職種との連携がいかに大切かが理解できました。(健康栄養学科)
 在宅医療の必要性について改めて知ることができ、また、新しい知識も得ることができました。(社会福祉学生)
 日本の高齢化が進む中での医療のあり方について知れた。観光も医療に携われることを知った。私も少しでも多く携わり高齢者の人の気分転換などになればいいなと思った。(国際観光学科)



科目名	栄養と健康を考える		
-----	-----------	--	--

科目番号	A-8	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	長崎国際大学	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	令和2年10月2日(金) ～令和3年1月22日(金)	曜日	金曜日
		時限	6時限目
開講時間	19時00分～20時30分(90分) 「毎週 金曜日」	授業定員	90人
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	開講日の講義及び担当教員は、事情により変更することがある。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 10月2日	腸内細菌叢の健康に及ぼす影響	野村 秀一 健康栄養学科(教授)
② 10月9日	鉄と健康	熊井まどか 健康栄養学科(教授)
③ 10月16日	地域を食す	岡本 美紀 健康栄養学科(教授)
④ 10月23日	摂食嚥下機能が低下した人に適した食事とは	古賀 貴子 健康栄養学科(教授)
⑤ 10月30日	MOTTAINAI! ライフのすすめ(食品ロス対策) ※大学実施	水江 文香 健康栄養学科(教授)
⑥ 11月6日	健康寿命を伸ばすための食事とお口の健康	林 俊介 健康栄養学科(准教授)
⑦ 11月13日	『時間栄養学』から健康づくりを考える!	松尾嘉代子 健康栄養学科(准教授)
⑧ 11月20日	食事バランスについて考える	山口留美 健康栄養学科(准教授)
⑨ 11月27日	「スポーツする身体」をつくるために食事のできることを	小田 和人 健康栄養学科(講師)
⑩ 12月4日	糖尿病から考える栄養と体内代謝	川内 美樹 健康栄養学科(講師)
⑪ 12月11日	日ごろから考えるいつもの食事と災害食	川野 香織 健康栄養学科(講師)
⑫ 12月18日	食品の「機能性」? 正しく知っていますか?	藤井 駿輔 健康栄養学科(講師)
⑬ 12月25日	保健統計からわかる日本人の健康と栄養の関係	宮原 恵子 健康栄養学科(講師)
⑭ 1月8日	今一度見直そう三大栄養素	吉村 亮二 健康栄養学科(講師)
⑮ 1月22日	途上国から考える食と栄養の課題とは	高江洲有沙 健康栄養学科(講師)

連絡先	長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020 FAX 0956-39-3111
-----	--

(科目内容) 江戸末期の儒学者である貝原益軒は、養生訓という書物の中で、健康な生活を送るには、自分の身体を損なうような原因となることを省くことが大切であり、身体を損なうような原因は、自分の身体の内と外に存在していると説いている。内にあるものとは、自分自身の欲望を抑えきれないことによるもの、外にあるものとは、自分を取り巻く環境によるものである。つまり自分自身の欲望のままに生活しないことや環境の変化に適応した生活を送ることが、健康で暮らせ、病気になることもなく、自分の天寿を全うすることができるということである。この考えを基にして現代社会の生活環境に対応して人が健康な生活を送るのに必要なことを解説します。

学生の感想・
教員のコメント等

儒学者である貝原益軒が著した養生訓という書物の中でヒトが健康な生活を送る極意が書いてあります。
皆さんも一度、養生訓を一読して、自分なりに健康な生活を送る方法を考えてみてください。

